

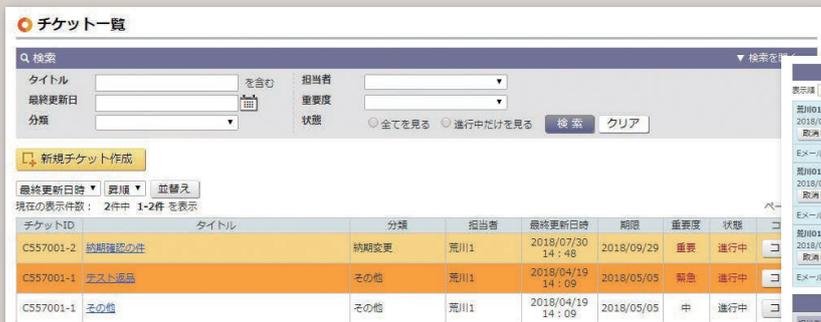
プロジェクトコミュニケーション支援クラウドサービス

プロジェクトの関係者間で確認・依頼事項をチケットとして登録し、関係者に依頼することができます。登録されたチケットに対して、いつ・誰がどのような対応をしたかのコミュニケーションの履歴が管理され、現在の担当者や「緊急」「重要」等のステータスも設定する事ができます。システムにログインすると自分が担当でコミュニケーションが発生しているプロジェクトや期限が間近になっている重要チケットがToDo一覧に表示され抜け漏れを防ぐこともできます。



④ ToDo一覧画面イメージ

自分に関連しているプロジェクトでコミュニケーションが発生している案件や自分が担当になっているToDoリストがログインすると表示されます。



① チケット一覧/コメント一覧画面イメージ

各プロジェクトごとに登録されているチケットの一覧や、各チケットについて、いつ・誰が・どのような対応をしたのかが記録され、現在の担当者も設定できます。

プロジェクトコミュニケーション支援クラウドサービスの特長

- 特長1** プロジェクトごとに確認や依頼する事項をチケットとして登録し、コミュニケーションのやり取り管理できます。
- 特長2** 登録したチケットは重要度・緊急度の設定や納期、担当者の設定もできます。また、発生したコミュニケーションについては、いつ・誰が・どのような対応をしたかが記録され、現在の担当者も設定できます。
- 特長3** システムにログインすると、TOP画面で自分に関係するプロジェクトでコミュニケーションが発生しているものや、各プロジェクトのToDoで自分が担当で重要・緊急のToDoがピックアップされ、抜け漏れを防止します

導入にかかる費用について

- 初期費用 300万円～ ■カスタマイズ費用 300万円～(目安) 要件により費用が変わります。
- サーバー保守費用 25万円
ミールソリューションズにてサーバーを運用する場合の費用となります。オンプレミスでの運用も可能です。